

授業科目	疾病学特論				単位	1				
履修	選択	関連資格				ナンバリング	NU31508J			
開講年次	4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1					
担当教員	浅野 嘉延									
授業概要	実務家教員として、大学病院や関連病院に長く勤務した内科医の臨床経験をもとに、医療現場で応用できる疾病の知識や医療技術を解説する。1年次の「疾病学総論」と2年次の「疾病学各論」「看護のための臨床検査」で疾病の診断や治療に関する基礎的な知識を学び、その後の病院実習にて実際の患者の看護を経験してきた4年生に、改めて臨床医学の奥深さを知ってもらいたい。									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表的疾病の病態、診断と治療を詳細に説明できる。</li> <li>2. 医療現場での看護のポイントを具体的に説明できる。</li> <li>3. 社会の医療に対するニーズを理解して、対応する方法を説明できる。</li> </ol>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)	70						70			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)	20						20			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)						10	10			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
疾患の知識や医療技術を臨床現場で応用することができる。現在の医療の課題について考察することができる。					代表的な疾患の病態、診断と治療を詳細に説明できる。看護師国家試験に合格ラインの知識を身に付ける。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	
1	テーマ:呼吸器疾患(1) 呼吸器疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、肺機能検査など応用事項			講義		当該部分の予習と復習			120	

	を解説する。			
2	テーマ:循環器疾患(1) 循環器疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、心電図の詳細、救命救急処置など応用事項を解説する。	講義	当該部分の予習と復習	120
3	テーマ:循環器疾患(2) 前回の続きを行う。 ＜試験① 呼吸器／循環器＞	講義	当該部分の予習と復習	120
4	テーマ:消化管疾患 消化管疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、内視鏡検査の詳細などを解説する。 テーマ:肝胆膵疾患 肝胆膵疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、肝炎ウイルスの感染予防などを解説する。	講義	当該部分の予習と復習	120
5	テーマ:代謝・内分泌疾患 代謝・内分泌疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、栄養指導の詳細などを解説する。 ＜試験② 消化管／肝胆膵／代謝・内分泌＞	講義	当該部分の予習と復習	120
6	テーマ:腎臓疾患 腎臓疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、透析療法の詳細などを解説する。 テーマ:神経疾患疾患 神経疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点などを解説する。	講義	当該部分の予習と復習	120
7	テーマ:血液疾患 血液疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点、造血幹細胞移植などを解説する。 テーマ:感染免疫疾患 感染免疫疾患の代表的疾患の病態と診断治療を復習し、臨床現場での注意点などを解説する。 ＜試験③ 腎臓／神経／血液／感染免疫＞	講義	当該部分の予習と復習	120
8	テーマ:医療で使う計算 点滴の滴下数、薬剤の溶解、酸素ポンベの残量などの計算を説明する。 疾病学の総まとめをする。	講義	当該部分の予習と復習	120
9				
10				
11				
12				
13				

14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	この授業で学ぶ疾病や医療技術に関する知識は、卒業後に臨床現場で直ぐに必要となるものです。看護師国家試験でも全ての領域の基礎となります。真剣に取り組んで下さい。			
テキスト	教科書：看護師国家試験対策 Start Book 解剖生理と疾病の特性(改訂2版)、浅野嘉延、南山堂 必要に応じて、プリントを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：看護のための臨床病態学(改訂3版)、浅野嘉延・編、南山堂 参考図書：看護師国家試験過去問題集、医学書院など			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義は教科書に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後には教科書に掲載された問題を解いて復習をして下さい。 分からないことは教官に質問するだけでなく、図書館で調べるなど積極的な姿勢に心がけて下さい。			

達成度評価に関するコメント	試験 90%、授業貢献度 10%で評価します。 試験は 30 点満点の看護師国家試験の形式で、3 回行います。
---------------	--